



おぎ
だより

平成26年6月号

杉並区立井荻小学校

平成26年5月30日発行 No.551

井荻小学校の特別支援教育

校長 梅津 典子

井荻小学校では特別支援教育を活かした学校づくりを進めています。特別支援教育とはどんな教育なのでしょう？特別に支援の必要な子どものための教育なのでしょう？確かに、以前は障害のある子どものための特殊教育という考えがありましたが、特別支援教育は特殊教育とは、全く違うものです。

人間は一人一人違う特徴や特性を持っています。身長が低い・高い、骨格が太い・細いなどの外見のことから、聞こえる音の範囲が広い・せまい、細かい字が見やすい・見にくい、記憶している時間が短い・長いなどみんな違う特性です。中には、「一つのことに夢中になってしまうと、気持ちの切り替えが難しい」「聞こえる音の範囲が広すぎて周囲の雑音が全部気になってしまう」などの、能力や学び方の違いもあります。

人は皆、それぞれの特性がばらばらに発達してきます。そこでこぼこが非常に大きい、若しくは未発達という状態が「発達障害」と言われるのではないかと、私は考えています。

現在、通常学級には約6%の割合で発達障害の可能性のある子どもが在籍することが明らかになっています。(文部科学省の調査2012年)発達障害とは診断されていなくても、発達がまだらな状態の子どもも多数います。

そのような子どもたちは、勉強したくても小さなことでつまずいたり、友達と仲良くしたくても、声のかけ方が分からなかったりして、本人が「困っている」状態であり、学校としては「気になる子」になっています。

井荻小学校では、発達障害を含む多様な子どもたちを可能な限り必要なサポートを付けて教育しよう

としています。どの子も伸びて学び合うために、「分かりやすい授業」を大事にしています。短期記憶の少ない子どものために、1回の話の中で指示することを少なくしたり、学習のめあてはいつも四角で囲むというように、黒板やノートの書き方を決めたり、1時間の学習の進め方をなるべくそろえたり、やるのが分かり見通しの立てられるような授業にように工夫しています。このような授業の工夫は、「全ての子どもたちにとっても分かりやすい授業」であると考えています。

さて、気になる子の問題が重視されるのは、昔に比べ、気になる子が増えているというより、周りの子の力が以前より弱まっているからではないかと思えます。「人付き合いのコツ・技術」であるソーシャルスキルや「自己評価の感情」である自尊感情の2つです。これらは、いずれも人とのかかわりの中から育まれることから、かかわり体験の少なさや体験の質的な変化も大きいと思われれます。学校でも、「気になる子にちょっかいを出し、トラブルを引き起こす周りの子」や「他の人に少しでも注意されると落ち込んだり怒ってしまったりする子」などがいます。互いに認め合うためには、小さい時からのかかわりの体験が大切です。学校では様々なかかわりの体験を進めていますが、家庭でも親子でのかかわりの場を増やして協力いただければと思います。認め合える学級集団でどの子も伸びる学校づくりを進めたいと思っています。

さらに、子どもたちを見守るシステムも整えています。詳しくは、6月14日(土)の学校公開日に学校方針説明会でお話したいと思います。

特別支援教育は「全ての子どものための教育」なのです。

どの子ども伸びて、学び合える学校を目指して

～どの子ども伸びて学び合える授業づくり～

研究主任 星野 桂

「あっ、そうか。わかった!!」

「〇〇さんの説明で、考え方がよく分かりました。」

このような言葉が飛び交う授業は、子ども達の目がきらきら輝き、よい学び合いができています。井萩小では、このような学び合いのできる授業を目指して、今年も研究を進めていきます。

「どの子ども伸びて学び合える学校」を目指すには、何といても学級集団の力が大きく関与しています。子どもが集団の中で認められ、安心して自分の思いを伝えることができれば、学び合える授業が展開し、一人一人の学力は確実に伸びていくのです。

今年度は道徳・学級活動・専科学習それぞれで研究授業を行い、「どの子ども伸びて学び合える学校」を目指します。



2年2組 道徳「森のともだち」

友達と仲よく励まし合うことは学級生活の基本。自分と違った考えをもつ友達も認め合い、助け合っていくことが大切です。自分の感情の葛藤を通して、友達としてどうするのが正しいのかを冷静に見つめる力を育てます。



5年2組 道徳「父の言葉～黒柳徹子～」

「だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする」と言うのは、単なる憐れみや同情、おせっかいはない。本当の親切とは何かを考えさせ、進んで相手のことを思いやる心を育てます。



4年2組 算数「わり算の筆算(2)」

$87 \div 17$ の計算の仕方を考えます。どのように考えたらよいのかを、まず自分で考えます。次に、クラスみんなで考え方を出し合い、検討し、計算の仕方を見つけていきます。



5年1組 学級活動

「いおぎまつりのお店を決めよう」

いおぎまつりでは、5年生はリーダー学年として3年生を引っ張ります。5年生だけでなく、3年生と協力して楽しいいおぎまつりになるようにと、お店を考えました。

すべての子どもたちに泳ぐ楽しさを！



体力向上委員会

6月19日(木)から、待ちに待った水泳指導が始まります。「水に顔をつけられる」「息継ぎをすることができ」「力を抜いて泳ぐことができる」の3点をクリアして、卒業までに『楽に長く』泳げるようにしたいと考えています。低学年のお子さんは、お風呂で頭からしっかりシャワーをかけるなど、生活の中で水に対する不安感を和らげていただくと助かります。天候等の影響でプールに入れる時間は限られてしまいますので、体調を整えてみんなが授業に参加し、“泳ぐ楽しさ”を味わってほしいと思っています。準備等でお手数をおかけしますが、ご協力よろしくお願ひ致します。準備等は、後日連絡いたします。

定期健診を終えて ～生活リズムの大切さ～ 養護教諭 横山 美佳

5月で、学校医による定期健康診断が終わりました。水泳指導前に治療が必要なお子さんには、用紙をお渡ししてありますので、医師の診断を受け指示をもらってから水泳の授業に参加してください。

また、先月は「生活リズム表」の記録、ご協力ありがとうございました。今年度も学期に1回、年間3回、家庭にご協力をいただきます。よろしくお願ひします。

子どもは、小さければ小さいほど家庭での影響が大きいと思うことが多々あります。生活のリズムもその一つだと思っています。私自身、子どもがまだ幼い頃、親の都合で普段の子どもの生活リズムを崩してしまい、翌週、発熱し保育園から迎えの電話がかかってきたことがあります。そこで、休日の過ごし方を保育園の生活リズムと同じようにすることにしました。例えば、休日でもいつもと同じ時間に起き、必ず昼寝をさせるなど、家族みんなで、あまり平日と大きく変わらない生活にしました。親が子どものリズムを乱したことで、自分の身に降りかかってきているのだと痛感したからです。親からすれば、仕事が休みだから、朝はゆっくりしたい気持ちはありますが、親も子どもが大きくなるまでの少しの間、我慢が必要です。周りの大人が言わなくても、子ども自身に生活リズムの大切さが分かり、身につけて子どもが、実行できるようになればしめたものです。

「生活習慣病」という言葉が言われるようになって久しいですが、子どもの頃から毎日毎日続けている生活習慣が、大人になってから生活に影響してくるということです。その子たちがやがて大人になり、自分の子どもを育てるときに、大人や親からの教えや生活習慣も丸ごとわが子に伝わることを考えると、大人、親の責任は重大です。子どもが健やかに育ち、大人になってからも『自分の健康は、自分でつくる』ことができるようになる基盤は、最初の集団である家庭であり、ちょっと広がった社会集団、学校なのだと思います。幼い頃は、良し悪しが判断できません。周りの大人が修正していかなければなりません。ご家庭で生活習慣に限らず、身に付けた習慣や決まり事を、学校では集団で学んで、将来子ども自身が選択し実践していく力を身につけることが大事だと思っています。子どものうちは「練習」の段階。体調を崩し、大事な行事に参加できなかったことを経験するお子さんもいるかもしれません。そうした痛い経験も大切な練習です。ご家庭では、お子さんに合った生活のリズムを一緒に探していくことを続けていってほしいです。日頃していることは小さなことでも、積み重なって大きなものになることを体験し、それがよりよい生活習慣をつくっていくことにつながると思います。さらに、そういう日々の積み重ねが、子どもたちにとって充実した学校生活となり、学習や運動に集中して取り組める力になっていってほしいです。

6月行事予定

1	日	
2	月	富士学園移動教室始5・6年
3	火	
4	水	午前授業 移動教室終
5	木	SC来校
6	金	5時間授業(4年・6-2以外)(B時程)
7	土	土曜クラブ 囲碁・マナーキッズテニス
8	日	
9	月	委員会活動 読書旬間始
10	火	安全指導
11	水	午前授業(3-1以外) SC来校
12	木	SC来校
13	金	学校公開日
14	土	学校公開日(11:45下校) 学校方針説明会(11:30~体育館)
15	日	
16	月	クラブ活動 避難訓練
17	火	音楽鑑賞教室5年 SC来校
18	水	午前授業(4-1以外)
19	木	水泳指導開始 SC来校 生活科教室2年(午前)
20	金	読書旬間終
21	土	土曜クラブ 囲碁・チャレンジキッズ
22	日	
23	月	
24	火	SC来校 5時間授業(2年・3-2以外)(B時程)
25	水	自転車安全利用講習会3年 ふれあいタイム
26	木	理科教室6年(午後) SC来校
27	金	荻中生徒会来校(13:15~) 環境サミット交流会
28	土	土曜クラブ お箏といけばな
29	日	ざりまる ON ステージ
30	月	委員会活動

6月の生活目標

健康・安全に気をつけて過ごそう

生活指導委員会 横山 美佳

6月は、新しい学年での生活にもだいぶ慣れてきた頃で、気がゆるみ、けがや事故が多いと言われています。生活習慣も乱れやすくなり、さらに、梅雨の時期に入り、むしむしと湿度が高い日が続くため、体の疲れがなかなかとれず、体調を崩しやすくなります。6月は、体も心も疲れやすい時期です。さらに、子どもたちにとっても、外で遊べない日が多くなり、運動不足になります。学校全体では、雨の日の過ごし方を考えて、安全に気をつけて校内での過ごし方、例えば、廊下の歩行や移動の仕方は「これでいいのか」「ここで走ったらどうなる」自分で確認したり、予測したりできるようにさせたいと思います。また、このような時期だからこそ、自分の身体のことを考える習慣を身につけさせたいものです。

子どもに規則正しい生活習慣を身につけてあげることが、子どもにとって一生の宝になると言われています。毎日元気に生活できるよう、ご家庭でも朝食をとる、十分な睡眠をとるなど規則正しい生活が送れるように、ご協力よろしく願いいたします。また、ぜひお子さんと一緒に、どんなことをしたら気分がすっきりするのか考えたり、体も心もリフレッシュできる方法を一緒に実践したりしてみてください。



全校遠足↑ 手をつないで仲良く行ったね♪

学校公開 6月13日・14日

年二回の学校公開です。是非ご参観ください。お越しの際は、入校証・上履き・上履き袋をお持ちください。当日の時間割は、後日配布しますので、ご確認ください。